

学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」

校報 さみ

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校

校長 佐伯 好洋

平成28年度 校報

2学期末号 (No.10)

伝統文化の継承 青少年グランプリ文化賞受賞

校長 佐伯 好洋



ユネスコ協会の方と一緒に
全校児童で記念撮影



佐見小学校では、「だいすき佐見！ふるさとの自然・文化・人」をテーマに、ふるさと教育に力を入れています。その中の1つの柱となっているのが「伝統文化を学ぶ」歌舞伎、郷蔵太鼓、獅子神楽について学ぶ活動です。この取組の内容や継続性が認められ、岐阜県ユネスコ協会による第38回青少年グランプリ文化賞をいただくことができました。先月28日に岐阜県ユネスコ協会の平井会長様をはじめ、多数の協会関係者の方から佐見小学校で表彰をしていただきました。これもひとえに長い間活動を支え続けてくださった地域指導者や活動関係者の皆様のおかげと感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

これらの活動の歴史を調べてみると、郷蔵太鼓は平成5年に郷蔵米の収穫祭で演奏されたのが始まりで、平成7年に本校の教育活動として取り入れられたようです。今年度も3・4年生が郷蔵太鼓の演奏活動に取り組んでいらっしゃる服部晃さんにご指導いただき、夏祭りや佐見っ子まつりで発表してきました。また、表彰式でも力強い演奏を披露してくれました。

佐見歌舞伎は、平成3年に佐見中学校体育館の竣工記念として37年ぶりに復活上演され、現在では隔年での定期公演がされています。5・6年生の学習活動として取り入れられたのは、平成23年と比較的最近のことのようですが、市川福升師匠や下呂市白雲座の細江和彦館長、熊崎由奈先生のご指導、そして佐見歌舞伎実行委員の皆様のご多大なご支援により、毎年発表の舞台に立たせていただいています。

獅子神楽は、有本神社の保存会の皆様のご協力を得て3・4年生が取り組んでいます。今年度も、3学期に安江康一郎さんにご指導いただき、かがやき発表会で成果を披露したいと考えています。

* * * * *

まだ暑さ厳しい8月末にスタートした2学期は、運動会、公表会、佐見っ子まつり、持久走記録会とたくさんの行事があり、その中で、多くの「佐見の子」の輝く姿を見ることができました。PTA役員の皆様をはじめ、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげで無事終わることができました。ありがとうございました。